

石川県に於けるゼフィルスの食樹の記録

野中 勝

この2,3年、県内に於てもゼフィルスの採卵が盛んに行なわれるようになってきたが、いまだに探察がミズナラの頂芽に集中する傾向が強く、他の樹種を食するものや、頂芽以外に産卵するものの記録は極めて少ない。採卵シーズンを前に、文献及び未発表記録により現在までの知見をまとめてみたので、今後の調査の参考として頂きたい。

- 凡例
- ：採卵記録あり
 - ×：採幼記録あり
 - ()：文献記録
 - *：未発表記録

- ← 採卵記録の出所
- ⊗ ← 採幼記録の出所

- 注1：未だ固定できず。幹の太さ、葉の大きさなどマルバアオダマを一回り大きくしたような樹で、金沢市俵、土清水、湯涌、江沼郡、真砂町などで確認。マルバアオダマより低標高地に分布するようである。
- 注2：マンサクと記録されているが、日本海側に分布するものは、一般にマルバマンサクと呼ばれているので、そう扱った。
- 注3：石川・富山県境の富山県側では、キンヤマザクラ(?)より採卵記録あり。(7)

*1	1980. IV. 27	江沼郡真砂町	初令幼虫	1 ex
*2	1979. VII. 19	金沢市俵	卵	14 exs
*3	1980. V. 6	金沢市湯涌町	幼虫	12 exs
*4	1979. II. 18	金沢市国見山	卵	6 exs
*5	1979. V. 12	金沢市臣王山	幼虫	1 ex
*6	1979. VII. 19	金沢市臣王山	卵	4 exs
*7	1979. V. 4	順尾山北方	2令幼虫	1 ex

- 1) 晴国健太郎 とくりばち №2627 (1974)
- 2) 吉村 久貴 翔 №5 (1979)
- 3) 晴国健太郎 とくりばち №22, 23 (1972)

- 4) 井村正行 et al 雑 №3 (1979)
 5) 嵯峨井淳郎 とくりばち №24.25 (1973)
 6) 松本 和馬 雑 №3 (1979)
 7) 野中 勝 雑 №4 (1979)

未発表記録は、*3のみ嵯峨井淳郎氏によるもの。他は筆者自身のものである。
 分属記録は最も古いもののみ記した。

	イボタ	マルバアオタモ	Flaxinus sp. ^{注1}	マルバマンサウ	ウラボロガン	コナラ	ミズナラ	クヌギ	ブナ	ハンノキ	オニグルミ
ウラボロガン	⊗ ¹⁾ _{*1}										
ウラボロガン		⊗ ²⁾ ₂₎	⊗ ^{*2} _{*3}								
ムクロジ											
アカマツ					○ ⁴⁾	○ ³⁾	⊗ ³⁾ ₂₎				
ウラボロガン								⊗ ³⁾ ₅₎			
オナガシ											○ ⁶⁾
ミズイロオナガシ					○ ⁴⁾		⊗ ²⁾ ₂₎	X ₂₎			
ウラボロガン							⊗ ^{*4} ₂₎				
ウラボロガン							⊗ ⁶⁾ ₂₎				
ウラボロガン				⊗ ³⁾ ₂₎	^{注2}						
ミドリシ										⊗ ²⁾ ₂₎	
クスノキ ^{注3}											
アイノミドリシ					○ ⁴⁾		○ ²⁾				
フジミドリシ									○ ²⁾		
オオミドリシ						○ ³⁾	X ₂₎				
ウラボロガン							⊗ ²⁾ _{*5}				
エゾミドリシ					X ₂₎		⊗ ^{*6} _{*7}				

石川県における下記採卵地は、過去に記録がないと思われるので発表する。これらの採卵はすべてミズナラによるものである。

アイノミドリシジミ

河内村	福岡	1979-12-29	2卵
鳥越村	三ッ屋野	1979-11-25	3"
〃	杖川	1980-11-9	16"
吉野谷村	雲龍山	1979-11-4	1"
〃	佐良	1979-11-25	2"
〃	瀬波谷	1980-9-23	2"
白峰村	大杉谷	1980-9-28	2"
〃	百万豊村近	1980-9-28	1"

ジョウザンミドリシジミ

金沢市	大平沢	1980-11-30	16卵
河内村	福岡	1979-12-29	4"
鳥越村	三ッ屋野	1979-11-25	1"
〃	杖川	1980-11-9	13"
吉野谷村	雲龍山	1979-11-4	2"
〃	佐良	1979-11-25	4"
〃	瀬波谷	1980-9-23	2"
〃	中宮部落	1980-9-23	5"
白峰村	大杉谷	1980-9-28	8"

ミズイロオナガシジミ

吉野谷村	佐良	1979-11-25	1卵
------	----	------------	----

オオミドリシジミ

金沢市	卯辰山	1980-11-6	1卵 (コナ)
-----	-----	-----------	---------

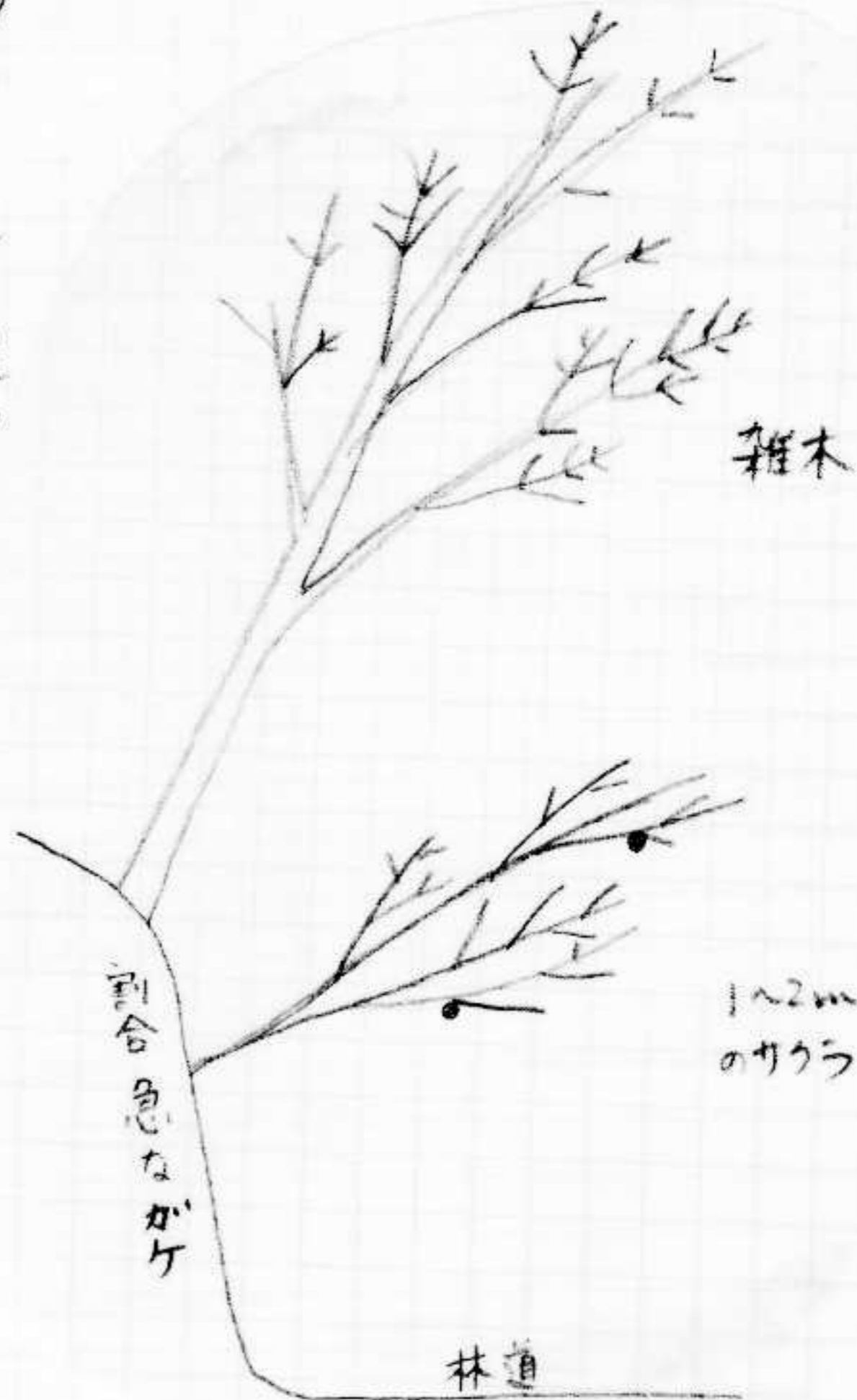
フジミドリシジミ

吉野谷村	蛇谷荘	1979-11-23	1卵(孵化) (7+)
------	-----	------------	-------------

筆者は1978年11月に医王権現付近に於て、一本のマメザクラよりメスアカミドリシジミを採卵し、その飼育記録を翔№4に報告した。以後石川県内各地で本種の採卵を試みてきたが成功せず、又昨シーズンは医王権現の1978年と同じ樹を見に行ったが、卵は着いていなかった。今シーズンもしつこく、1980年11月9日に同じ樹を見に訪れたところ、3卵発見採集した。

更に同地は県境より数百米富山県側に入っている為、石川県での採卵記録をと、ヒステリックに行政区分にこだわらず、綾線(金沢市)を捜し一本のマメザクラ(?)より5卵を得た。この付近にはサクラは比較的少なく、十数本の木を捜した内の上記2本からのみ計8卵が得られた。石川県に於ける本種の成虫の記録は極めて少ない(数頭?)様であるが、卵を積極的に捜せば割合得られるのではなかろうか。成虫は珍品だが卵の比較的多いウラキンシジミの例もあるので、皆さん努力してみよう。

最後にメスアカ採卵のポイントを図解しておく。(たった2本の樹だけからの経験で我ながら長く書くと思いつつも)。



広島市内のナガサキアゲム他

吉岡 泉

広島市街地の東南部に位置する比治山^{ひじやま}は、周囲全体が商店や住宅に囲まれた一風変わった山である。金沢で言えば卯辰山を兼六園あたりに持って来た感じであるが、山とは言っても小高い丘程度で、頂上が公園になり、瀬戸内海が一望できる市内の名所である。

ナガサキアゲムは、中国地方(山口、広島)、四国、九州以南に分布し、広島はほぼ分布の北限にあたる。(紀伊よりも北にある)市内での個体数はかなり多く、黒色型アゲムの中では一番多いのではないかと思うくらいよく見かける。

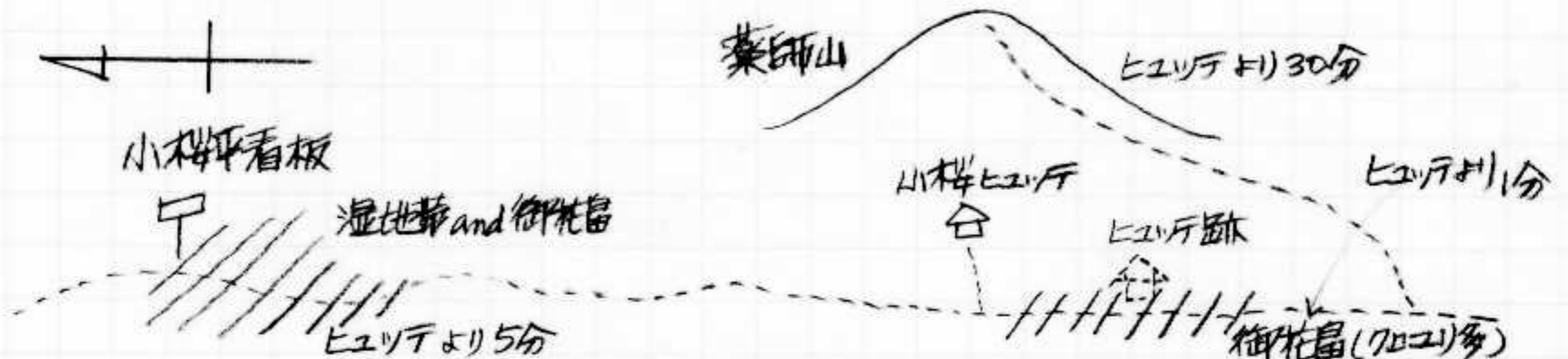
さて、前記の比治山及びその周辺は、市内でもナガサキアゲムが特に多い場所で晴天で風の無い日だと、数頭は見られる。雌の個体はめったに見かけないが、雄であればちょっと花の多い場所なら、2〜3頭は飛んでいる。条件さえ良ければかなりの数の採集が可能であると思われる。ナガサキアゲムの食草は、比治山周辺の民家の庭などを捜したところ、ミカン科の木を2本(高さ約2m)を発見したが、カラダチはあたりに見られず、幼虫はミカン科の木を食草にしていると思われる。しかし、個分民家の庭であるため勝手に入る訳にもゆかず、果たしてナガサキアゲムの幼虫が着いているかどうかは、まだ確認していない。これからの課題は、幼虫の確認であるが、生息数から考えて有望であることは確かである。

また、蛇足ではあるが、比治山にはエノキが多く、これに伴ってかなりの数のゴマダラチョウが生息している。現在確認したエノキは13本で、大木であるため手の届く範囲ではあるが、8頭の幼虫を確認した。

白山小椋平にベニヒカゲはいるのか

松井 正人

1980年8月17日、白山は早朝より霧、小雨であったが午後より雨が上がり2時頃、約1時間快晴となった。小椋ヒユツテでホーとしていた25匹は、とたんにそわそわしだしたのだが、当りに黒っぽい影はカケラも見えない。1時間動き回った成果は、モンキチョウ2匹、1匹、ヒキマダラヒカゲ1匹、高山トンボの産卵を目撃したにすぎなかった。



ギフチョウ飼育記録例

松井 正人

1980年6月8日、富山県大野和峠(標高約1300m)にて採卵したギフチョウの飼育記録である。飼育は金沢市の室内で、金沢市産の自然状態にあるヒメカンアオイを与え、卵塊単位で行なった。孵化初日は6月11日、終日は6月14日で結果は次の通りであった。

日数	ア群	イ群	ウ群	エ群
0	5卵	6卵	8卵	6卵
1	1A4卵	6A	5A	6A
2	5A	6A	5A	6A
3	5A	6A	5A	6A
4	4A1B	6B	3B	6B
5	5B	6B	3B	6B
6	4B1C	6B	3B	6B
7	2B3C		3C	6B
8	5C		3C	6B
9	4C1D		3C	1C
10	4C1D		1C2D	1C
11	5D		3D	1C
12	5D		3D	1D
13	4D1E		3D	
14	1D4E		1D2E	
15	5E		3E	
16				1D
17				1E
18				
19				
20	5E		3E	
21	4E1F		1E2F	
22	3E2F		3F	
23	4F1G		1F2G	
24	3F2G		1F2G	
25	1F4G		1F2G	1E
26	5G		3G	1F
27				1F
28				1F
29				1G

<凡例>

- A: 初令
- B: 2令
- C: 3令
- D: 4令
- E: 終令
- F: 前蛹
- G: 蛹

次に各令級の日数を示す。

令級	最短—平均—最長	試料個体数
初	3—3—3	20
2	2—3.3—5	9
3	3—4.1—5	9
4	4—4.7—6	9
終	8—8.4—9	9
前蛹	2—2.7—4	9
幼虫期	22—23.4—28	9

幼虫期が平地産に比べて、1週間程短かい^{*}のは、飼育時期が遅い為であらうか、それとも高地産の為であらうか。

*1. 1977年5月全くと条件飼育した富山県成出産は、幼虫期31日。

ゼフィルス探卵メモより

諸道 秀人

昨シーズンよりゼフィルスの飼育を行なっているが、今シーズン(1980年)の現在までの探卵成果を示す。

1980-9-28 石川郡白峰村大杉谷

ゾウザンミドリ 6卵

ダイセンジミ 2"

1980-10-10 金沢市医王山

ゾウザンミドリ 8卵

アイノミドリ 1卵

エゾミドリ 1卵

ズノオカガシ 1卵

1980-10-16 金沢市倉岳

ゾウザンミドリ 1卵

ズノオカガシ 20卵 *1

1980-10-18 金沢市坪野

ゾウザンミドリ 1卵

1980-10-20 金沢市医王山

ゾウザンミドリ 23卵

アイノミドリ 3卵

1980-10-23 金沢市倉岳

ゾウザンミドリ 2卵

ダイセンジミ 4卵

1980-10-26 石川郡白山町地蔵

フジミドリ 1卵 *2

1980-10-30 石川郡鶴来町獅子吼高原

ゾウザンミドリ 8卵

1980-11-2 富山県宮川流域

ヒサマツミドリ 47卵 *3

エゾミドリ 2卵 *3

エゾミドリ 9卵

1980-11-3 石川郡鶴来町獅子吼

ゾウザンミドリ 24卵

アイノミドリ 3卵

ダイセンジミ 1卵

1980-11-9 富山県宮川流域

ヒサマツミドリ 10卵 *3

1980-11-10 金沢市坪野

ゾウザンミドリ 1卵

1980-11-12 金沢市倉岳

ゾウザンミドリ 19卵

ズノオカガシ 1卵

1980-11-14 金沢市倉岳

ゾウザンミドリ 15卵

アイノミドリ 3卵

1980-11-16 金沢市・医王山
 メスアカミドリシジミ 4卵 *4
 ウラキシジミ 21卵 *5
 ダイセンシジミ 2卵
 ショウザンミドリシジミ 2卵

1980-11-17 金沢市・医王山
 ダイセンシジミ 1卵
 アイノミドリシジミ 2卵
 // 金沢市・目黒
 オナガシジミ 1卵 *6

1980-11-19 金沢市 第4嶽所
 アイノミドリシジミ 1卵
 ショウザンミドリシジミ 4卵

1980-11-23 金沢市・医王山
 アイノミドリシジミ 4卵
 ショウザンミドリシジミ 10卵

1980-11-24 石川郡鶴来町獅子丸
 ショウザンミドリ 32卵
 アカシジミ 1卵
 ダイセンシジミ 7卵

1980-11-30 石川郡島越村杖川
 アイノミドリシジミ 5卵
 ショウザンミドリシジミ 4卵
 ミズイロオナガシジミ 1卵
 ダイセンシジミ 1卵
 イソミドリシジミ 1卵

1980-12-2 金沢市 医王山
 アイノミドリシジミ 4卵
 ウスイロオナガシジミ 1卵
 ダイセンシジミ 2卵
 ショウザンミドリシジミ 7卵

1980-12-9 金沢市 坪野
 ショウザンミドリシジミ 1卵

1981-1-4 兵庫県 久崎
 ミズイロオナガシジミ 1卵 *7
 ヲウジロミドリシジミ 9卵 *7
 ウスイロオナガシジミ 6卵 *7

1981-1-8 滋賀県 堂所
 ミドリシジミ 2卵 *8

1981-1-15 石川郡鶴来町獅子丸
 ショウザンミドリシジミ 4卵
 ダイセンシジミ 2卵

1981-1-18 石川郡鶴来町獅子丸
 ショウザンミドリシジミ 4卵

1981-1-25 石川郡鶴来町獅子丸
 ショウザンミドリシジミ 4卵
 ミズイロオナガシジミ 1卵

1981-2-15 石川郡鶴来町獅子丸
 アイノミドリシジミ 1卵
 ショウザンミドリシジミ 4卵
 ダイセンシジミ 2卵

*1:イボタノキ
 *2:ブナ

*3:ウラジロカン
 *4:サクラSP

*5:アサギ
 *6:オナガシジミ

*7:ナラガンシ
 *8:ハンキ

以上が1981年2月現在の採卵成果である。なお注記したものの以外は全てミズナラの休眠芽より得たものである。

また、兵庫県久崎においては、ヒロオビミドリをねらったのであるが、不運にも採れなかった。(イモという声が聞かれる)

しかし、ウスイロオナガの場合、ミズナラに比較するとナラガンシは非常に容易に採卵できた。オオミドリもコナラの場合よりも容易と思われる。会員の皆様、御期待のキリンマミドリは、大雪のため、目的地まで行くことができませんでした。悪しからず、ごめんね。

《例会の記録》

1980.12.18(木). 12月例会を金沢市内三日新町赤坂テラザ内喫茶シリーズにて開催。師走で御多忙中の折、金平・竹谷・松田・野中・吉村・井村・諸道・嶺根の8氏の参加を得た。話題は、各地のスキー場だより(はっぱら金平氏により)。竹谷氏撮影による、ギョウソウ・ウラミスジジミ・アゲハ・キアゲハのパネルの披露及び撮影基盤。諸氏のゼツ採卵情報。松田・諸道両氏による年末始の関西方面某地での採卵計画。送っていた翔18号の配布。etc. 次回の例会には、竹谷氏撮影のスライドの映写を予定している。(嶺根氏記)

《会員の動き・しゃべの動き》

- ◆ 金平氏は12/13~14 金大スキー部の初滑り練習のため長野県白馬へ行った。また12/25より池平へ同じくスキーの合宿に参加した。ゼツ採卵に時間を潰ったかどうかは知らない。
- ◆ 12月14日(日)、吉村・諸道のアゲハコンビは、一里野へスキーに行った。しかし採卵はやらずとか。同日、野中氏も一里野へスキーに。このところ蝶談会のメンバーである場合は、スキーも必須になってきたような情勢である。

“女、スキーをやらざるは、卵を採るべからず……………?”

- ◆ ベンコルは、忘れていた鱒釣り学会の今年度の会費を11月末に京都へ送金したところ、追って未着であった。蝶と蛾・やどりかが届いた。“やー”は長いとして“蝶——”の方は、読む気がおきなくて(?) 一学の無さかな。
- ◆ 〇月〇日、石川はしの会の武藤明御大が、野中会員宅へ“翔”を借用に

きたか。何やら、石川県産の虫蝶をとりまとめるための下準備かな?

- ◆ 松井仕事人は、12月中、輪島でウレシ塗りの勉強をしていたらしいが、天候が悪く、ついでに採卵行動・採卵行動は、あまりとれなかつたらしい。ミスナラに1本だけ登ったがボツったとか。
- ◆ 12/20~1/0 諸道・松田の関西O.Bは、ヒオオビ・ウラジロ・Xスパカ・ウスロオオ・キリマ・ヒサマリなどを求めて、兵庫~滋賀へ。ヒオオビO、ウラジロドリウスロオオが、Xスパカなど少々の成果。
- ◆ 12月25日、松田氏は新築中だった新居が完成。引越しをされた。こいで親を3人木入らずにたった歌であるが、1.8Lビンなどの新築祝を持参すれば、きっと秘蔵の標本などを見せられるのではないかと。いや愛妻の熱烈歓迎の方がよしいですねー。
- ◆ 12月00日、滋賀県出身の諸道氏は久々に父ちゃん・母ちゃんの前へ帰り忘れた関西弁を腹いっぱい使い白頭のウツパンをはらした。
- ◆ 1月10日、モロム氏は、大津川の帰ったばかりの疲れも知らずに獅子吼しへ採卵に行ったが、スキーリフトがストライキをおこして動かず、金沢へ引き返してバグ言っていた。
- ◆ 1月11日(日)、モロム氏・松井仕事人の2人は、スキーを楽はみ予走だったが、大雪の為、スキー行動を中止し、嶺根井亭を急襲し、今年の抱負を大いに語った。新しい仕事・嫁さん・目標はOOテコウ etc と。
15日迄は、正月だとか、ちんとかいって3人で酒をくらい快気炎を上げたあと、酒気太りで4WDを運転して帰っていった。しかし、4WDの真価発揮は、正

に今が一番。スータイヤもスライクパイヤもつづに豪雪の“額”を軽く一周した。

《TSU-I-SO よりの盗作・無断転載》

『今や、虫界・蝶界は情報過多時代。いろんな同好会誌の編集後記をのぞいてみると、原稿不足の泣き言が姿をかえ、言いまわしに色をつけては登場する。編集後記にもう少し他に書くことがないんだらうか。』

編集後記にみる「原稿書いて」「原稿募集」というのは、原稿がないので編者がしかたなしに載せた本人のウケクサに対するいい返りともかく、もしその一文で本当に原稿があったらと思ってるなら、そんな能なし編集人はやめた方がいい。そんな印刷物の呼びかけなんて絶対に反応がないだ。

それで原稿がそろそろいたら、世の中苦労なんかなくなってしまう。アホは、死ね!

デッチ上げ原稿が書ければ一流、取材原稿が作れば二流、原稿依頼が出来るようになれば、一流の編集者といえよう………さように原稿依頼はシンドイ。このカンジワカラカト——………後略』

この意味わかるかな——。わからんたら——な (編集子)

目 次

石川県に於けるゼフィルスの倉樹の記録	野中 勝	1
ゼフィルス採卵記録より	松井 正人	3
再び医王山のメスアカミドリシジミについて	野中 勝	4
広島市内のナガサキアゲム・他	吉岡 泉	5
白山小椋平にバニヒカゲはいるのか	松井 正人	5
ギフチョウ飼育記録例	松井 正人	6
ゼフィルス採卵メモより	諸道 秀人	7
例会の記録	編集子	9
会員の動き・しゃばの動き	編集子	9

期

№ 20

1980年 12月 25日(木)

発行 : 金沢市三日新街4-9-34 松井正人方

編集校正 :

嵯峨井淳郎